

にご提供するためにも、現在行っています月2回の広報紙の発行は必要と思っています。

三好睦子議員



1 公共施設の利用料について

Q 合併後の公共施設利用料設定の経緯と、利用者負担軽減について、お考えをお伺いします。

A 市長答弁

社会教育施設などの利用料については、旧美祿市と旧秋芳町が半日単位の設定になっており、旧美東町の美東センターなどは1時間単位の利用料設定となっていたため、合併協議会の専門部会において協議した結果、半日単位の料金体系としました。このため利用時間によっては、以前の利用料より安くなる場合と若干高くなる場合がありますので、今後各施設の利用状況などの実情を考慮して、見直しの必要があれば検討をしたいと考えています。

2 コミュニティバスとデマンドタクシーの運行について

Q 循環バスの効果的な運行と乗り合いタクシーの組み合わせによる交通弱者への交通手段の確保について、お考えをお伺いします。

A 市長答弁

現在、地域公共交通総合連携計画を策定するための調査を担当部署に指示しており、この計画を策定していく過程において、コミュニティバスやデマンドタクシーの運行の是非、運行経路、費用対効果などを考慮した受益者負担の在り方などを、議会ならびに関係団体や利用者を含めて総合的に協議・検討し、市民の足の確保を行いたいと考えています。

3 簡易水道の水源確保について

Q 湧水対策についてどのようなお考えか、お伺いします。

A 市長答弁

昨年の美東町赤郷地区と神田地区における夜間断水については、降水量が過去30年間の平均降水量の5割程度しか

なく、この異常少雨が原因とされています。湧水に対する方策としては、節水や断水の方法を除くと、新たな水源確保が有効かつ即効性があるとされていますが、この水源確保には、多額の資金が必要であり、資金が確保できたとしても、この費用が水道料金に反映されることを考慮すると、新たな水源確保による湧水対策は、慎重を要すると考えています。

4 十文字原開発用地と土地開発公社が購入した経過について

Q 十文字原用地を買ったために美東町土地開発公社が設立されているが、これまで開発計画もなく、土地代金と利息が膨れ上がっている。経緯をどの程度認識されているのか、お尋ねします。

A 市長答弁

平成8年度に設立された美東町土地開発公社につきましては、合併に伴う公社統合時の経営状況は妥当と認められて、現在美祿市土地開発公社が財産を引き継いでいます。が、土地購入時までさかのぼって詳細な状況を把握するということは行っていません。しかしながら、必要があれば

今後、調査を実施したいと考えています。

また、今後の十文字原総合開発用地の利用開発につきましては、将来を見据えた効果的な土地利用になるように、公社に対して適切、適正な指導を行いたいと思います。

南口彰夫議員



1 旧美東町十文字原用地に関する疑惑と当時関係者の責任について

Q 旧美東町土地開発公社による十文字原用地取得の経緯についてお尋ねします。

A 市長答弁

本件については、美東町土地開発公社の十文字原用地取得経緯など、当時の状況までは把握していません。しかしながら、5月27日付けの新聞報道によると、美東町土地開発公社が土地の購入にあたり相場より高く先行取得、また取得後11年間も造成されないまま放置状態であるなどの疑

問が報道されたことは承知しています。

旧美東町の土地開発公社の財産は本年3月21日に美祿市土地開発公社に統合されており、新聞報道の内容については必要があれば調査をしたいと考えています。

大中 宏議員



1 病院の存続について

Q 地域医療の拠点として2つの病院は存続すべきと考えますが、お考えをお伺いします。

A 市長答弁

当地域における自治体の果たすべき役割として、病院事業は非常に重要であるとの認識の下、地域に必要な医療を適確に実施していけるよう、医療機能を整備するとともに、経営の改革を進め、持続可能な公立病院を築きあげたいと考えています。また、経営検討組織の設置については、現在、設置の方向で準備を進めています。

Q 観光事業において、大幅な見直しを検討すべきと考えますが、お考えをお伺いします。

A 市長答弁

新市は、日本最大のカルスト台地「秋吉台」や、東洋一の鍾乳洞「秋芳洞」を有する県内屈指の観光立市となりました。今後「秋吉台型のエコツーリズム」の取り組みや、美祢市独自の修学旅行誘致を通じて、秋吉台を中心として交流人口の呼び込みを行い、滞在時間の延長を図り、質の高い観光、回遊型観光への取り組みを行っていきたいと考えています。

2 米消費拡大対策について

Q 米飯給食の完全実施と朝ご飯条例の制定について、お考えをお伺いします。

A 市長答弁

現在、美祢市の学校給食はJ A山口美祢から直接購入した美祢産米を使って週3日以上、ときには週4日米飯給食を実施しています。また、朝ご飯条例の制定については、単に朝ご飯を摂取することだけでなく、食に関するまちづ

くりの推進を進めようとするものであり、今後、条例化になじむかも含め、研究をいたしたいと思えます。

3 少子化対策・子育て支援について

Q 子育て支援への取り組みについてお尋ねします。

A 市長答弁

本市では保育時間の延長を、保育園によって開始時間などが異なるものの、概ね午前7時から午後7時までの保育を実施いたしています。また、保育料の軽減については、新市において、保育料を国基準額の80%としており、これにより、最高で1万6千円の減額となっています。また、多子世帯保育料等軽減事業も実施しています。その他、ひとり親世帯の就労を促進することを目的に、就労している世帯には1万円、職業訓練などに参加している世帯には5千円の就労促進費を支給しています。

また、児童手当も支給しており、平成19年度に児童手当全体に要した費用は1市2町の合算で1億7、922万円となっています。

4 企業感覚による行政運営の確立について

Q 入札制度の透明、公正性の確保について、お尋ねします。

A 市長答弁

公共工事の入札および契約に関しては、市民の信頼の確保と建設業の健全な発達を図るよう適正に実施しなければならぬと思っており、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の趣旨に沿って、今後とも適正に事務を遂行したいと思っております。また、随意契約の見直しについては、競争入札で契約することが本市の利益の増進につながるもの、またその目的を達成する上でより妥当であると判断されるものについては、積極的に競争入札を導入していく必要があると考えています。



人権ふれあいフェスティバル

日時 8月30日(土) 10時～15時30分
場所 スターピアくたまつ

メイン会場

10時30分 オープニングステージ(降松星太鼓)
11時30分 ふれあいコンサート

12時30分 ちひろコンサート
(下松市立花岡小学校吹奏楽部)

13時30分 講演 「車椅子からの出発(たびだち)〜絶望のどん底から這い上がるまでの軌跡」
鈴木ひとみさん(エッセイスト・バリアフリーコンサルタント)

サブ会場(10時～15時30分)
パネル展示、福祉の市、物産展、ふれあいシアター、映画「ハッピーフィート」上映、ふれあいコーナー、人権相談、福祉総合相談、スタンプラリーなど

問合せ先 県人権対策室(☎083-9333-2810)

美祢市歴史民俗資料館 夏休みの行事

秋吉台科学博物館

第1回化石教室(8月7日(土) 9時30分～15時30分)

内容 石炭、石灰岩関係の化石採集をした後、化石のクリーニングや研磨作業をする

土器の製作体験学習(8月9日(日) 9時30分～15時)

内容 専門家の指導により、弥生式土器を製作する

第2回化石教室(8月22日(土) 9時30分～15時30分)

内容 第1回化石教室と同じ

学習相談室(8月24日(日) 10時～15時)
内容 化石・岩石の分類・整理や採集などの相談に応じます

各行事の参加費は無料です

募集人数など詳しくは問合せ先にお尋ねください
申込・問合せ先 市歴史民俗資料館(☎0837-530189)
秋吉台科学博物館(☎0837-520640)